

平成29年度第3回市長定例記者会見

市長あいさつ及び発表要旨

平成29年11月27日

報道関係者の皆様には、お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。また、平素より本市の情報を市内外に精力的に発信いただき、本市の活性化にご理解とご協力を賜っておりますことに対し、厚くお礼申し上げます。

さて、今年の12月25日に市長に就任し、市政を担わせていただけてからもうすぐ1年が過ぎようとしております。この間、「責任の重さ」を感じながら、「市民の皆様のご期待に応えたい」という一心で、市政運営に取り組んでまいりました。あっという間の1年だったと実感しております。

また、市政運営の難しさを痛感する反面、市民の皆様からの多くの励ましのお言葉に勇気づけられるとともに、議員の皆様からのご支援や職員の努力に支えられ、私なりに新しい時代への歩みが始められたと感じており、厚くお礼申し上げる次第であります。

この1年、本市が抱える喫緊の課題であります人口減少を克服するとともに、公約に掲げておりました「健康で、住んで良かったと思えるまち」の実現に向けて、「第2次新見市総合振興計画」を基本理念とし、「新見市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた施策を着実に実施してまいりました。

特に、経済対策や健康寿命の延伸に繋がる事業に取り組むとともに、「協働」をキーワードに「オール新見」の精神で市民の皆様とともに考え、協働して地域づくりに取り組む体制の強化を図ってきたところであり、その取組も次第に広がりを見せていると感じております。

また、市民の皆様から広く意見を伺いたいという思いから、市政懇談会や各地域での行事等にもできる限り出席させていただきました。それぞれの場で、皆様からいただきました貴重なご意見を今後の市政運営に役立ててまいりたいと考えているところであります。

その上で、私としては、本市がこれから将来にわたった持続・発展していくためには、行政と市民が協働すること、さらに、「共助」を中心とした「新見市版地域共生社会」の実現を目指していくことが必要と考えております。

こうしたことから、平成30年度に向けては、新見市総合振興計画の4つの基本目標ごとに、事業推進にあたっての新たな着眼点を定め、より効果的な施策の展開を図ってまいりたいと考えております。

具体的には、総合振興計画及び総合戦略に着手して3年が経過することから、これまでの取組の進捗状況や効果を検証しつつ、それぞれの取組を「深化」させ、基本目標の達成につながる新たな施策に取り組んでまいりたいと考えております。

まず、総合振興計画に掲げる4つの基本目標の一つ、あたたかい「福祉のまち」の実現につきましては、少子化の克服と健康で暮らせるまちの実現を新たな着眼点とし、出産・育児をめぐる課題解決の取組や地域医療体制の整備、市民の健康意識を高める事業に取り組んでまいりたいと考えております。

次に、はばたく「産業のまち」の実現につきましては、地域経済の好循環の実現を着眼点とし、地域の稼ぐ力の向上につなげる取組、地域価値を向上させる取組、民間投資の喚起につながる取組に取り組んでまいりたいと考えております。

次に、ゆたかな「文化のまち」の実現につきましては、故郷を愛し、生きる力を備えた人づくりを着眼点に、学習環境の整備や生きる力と郷土愛に溢れた人材の育成に関する施策に取り組んでまいりたいと考えております。

次に、かいてきな「環境のまち」の実現につきましては、快適な都市環境の提供と安全・安心が実感できる地域の実現の2点を着眼点とし、地域社会を支える都市基盤の整備や防災力を強化する事業に取り組んでまいりたいと考えております。

また、これら基本目標に加え、新たな施策目標として「新しい人の流れの創造」、「新見市版地域共生社会の構築」を掲げ、本市の魅力・ブランド力を向上させる取組や移住者等受け入れ対策の充実、新見公立大学完全4大化を見据えた取組、さらに、多様な人が活躍できる社会システムの構築、地域課題に取り組む体制づくりに取り組んでまいりたいと考えております。

その上で、平成30年度においては、これまで以上に部局間の連携を強化し、様々な施策を有機的に連携させることで、それぞれの施策の効果を高めてまいりたいと考えております。

私からは以上でございます。